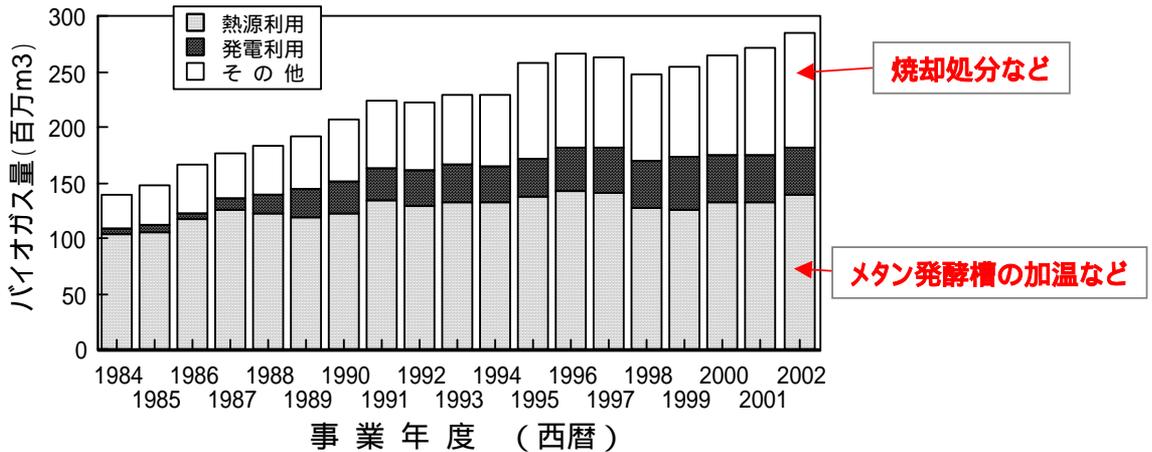


下水汚泥のエネルギー利用の推進

【下水汚泥から発生するバイオガスの有効利用状況の推移】



バイオガスを燃料としたガス発電
(東京都、横浜市など全国18処理場で実施)



精製したバイオガスをCNG車の燃料に(神戸市)

下水汚泥の処理過程で発生するバイオガスは、平成14年度で約3億m³が発生しているが、このうち約1億m³が有効利用されずに焼却処分されている状況。

バイオガスの約6割はメタンであり、カーボンニュートラルなエネルギーとしてより一層の有効利用を図っていく必要。

近年では、バイオガスを発電に利用する以外に、バイオガスを精製し自動車燃料として利用する例などの新たな下水汚泥のエネルギー利用方策が考案されてきているところ。



Lotus Projectにより新たな下水汚泥のエネルギー利用方策を開発